

公表:令和 4 年 2 月 28 日

事業所名 すぎのこ放課後等デイサービス

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			密にならないように、人数が多い時には、個別室や感覚統合室、プレイルーム等も活用しています。	
	② 職員の配置数は適切であるか	○			基準は満たしています。急遽職員が休みになる時には、他部署から職員が入れるようにしています。	
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			玄関や廊下と各部屋の敷居も段差はなく、バリアフリー化に配慮しています。	
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			クラス会議で気付きを出し合い、職員会議等で職員全員で話し合いを行なっています。	
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			毎年、保護者アンケートを実施しており、集計結果をホームページで公開しています。	
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページ内の情報公開のブログにまとめて公開し、すぐに閲覧出来るようにしています。	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			平成26年に第三者評価を受審しています。また、自己評価を元に業務改善に繋げたり、法人内で内部監査も実施しています。	
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			法人内研修や各種外部研修に計画的に参加しています。また、毎月の職員会議で課題に応じた研修を実施しています。	WEB研修が増えているので、WEB研修を受けることが出来る環境も整えています。
適切な 支援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			年二回の保護者との面談と毎月の会議の中で保護者のニーズや子どもの支援方法及び課題について話し合いを行ない、適切かつ統一した支援を行なえるようにしています。	
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			会議等で意見を出し合い、コロナ禍でも様々な経験が出来ように、計画しています。	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			毎月の予定表を作り、活動が固定しないようにしています。また、季節や子どものニーズに合わせた活動を取り入れています。	継続して身に付けていくことも大事だが、新しい活動にも挑戦し、より有意義な時間となるようにしていきます。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			休日や長期休暇の時には、宿題などの学習をする時間を作ったり、活動時間に合わせた活動計画を立てて実施しています。	
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別支援計画に沿って、その時の子どもの状況に合わせて、個別活動や集団活動を促しています。	

15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			子ども達を迎え入れる前に、子どもたちの直近の様子を職員間で話をし、共通理解を出来るようにしています。	
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			業務終了後に意見を出し合い、職員間で情報の共有をしています。休みの職員にも後日、出勤した時に伝えていきます。	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援した内容やその結果などを毎日記録に残し、会議等での話し合いの時に検証・改善に繋げられるようにしています。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			年二回の保護者との面談や定期的な相談事業所との情報交換を行ない、放課後デイサービス計画の作成・評価の見直しをしています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○				異年齢(小1～中3)の子どもが同じ空間におり、体の大きさや動きに差があるので、時には活動内容を分けるなどの配慮をしていきたいと思えます。
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児発管もしくは担当職員が参加するようにしています。	
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			四者連絡協議会(支援学校・関係機関3つ)に参加し連絡調整を行なっています。また、担任者会や送迎時にも情報共有を行なうようにしています。	
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			現在、医療的ケアが必要な受け入れはありませんが、投薬が必要な場合は、投薬調査表に記入してもらい、主治医との連絡が取れるようにしています。	
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			すぎのこには児童発達支援センターもあるため、就学前の情報はしっかりと共有出来ています。放課後等デイから利用の児童に関しても、関係機関と連絡を取り合い、利用前の情報の共有を行なっています。	
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			必要に応じて、保護者の同意のもと個別記録表を作成し、事業所との話し合いに参加します。	
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			児童発達支援センターが法人内にあるので、職員同士、連携しています。また、言語聴覚士、理学療法士、作業療法士の先生の研修も定期的に受けています。	
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○				コロナが落ち着けば、交流する機会を作れるように、早めに連携を図って計画を立てていけるようにしていきます。
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			必要に応じて、ケース会議等に参加し、情報共有を積極的に行なっています。	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携

	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			デイでの活動の様子、学校からの連絡などを、おたよりノートでお知らせをしたり送迎時に直接お伝えしたりして情報交換を行ない、子どもについての共通理解を深めています。	
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			送迎時や面談を通して、保護者が家庭で困っていることなどを聞き取り、改善策を提案したり、対応方法の助言を行っています。	現在は、ペアレントトレーニングは実施していないが、今後、研修を受け、当事業所でも取り入れていきたいと思えます。
保護者への説明責任等	㉒	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			各事項に関して、契約時にお知らせしています。保護者からの質問があった時にも随時説明をしています。	
	㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			その都度、保護者の話をしっかり聞き、デイで行なっている支援方法、家庭でも出来るような支援方法・アイデアをお知らせしています。	
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		現在、保護者会等はありませんが、保護者の要望や必要性があれば検討したいと思います。
	㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			意見箱(博愛の里玄関、デイ玄関)を設置したり、苦情受付担当者を設け、契約時にも説明を行なっています。	
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			デイだより及び給食だよりを毎月末に発行し、当月の活動の様子を写真や文章で知らせたり、来月の活動予定や献立・調理実習の内容などをお知らせしています。また、ホームページ内のブログでも月一回子どもたちの活動の様子を写真付きで載せています。	
	㉗	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報に係る同意書と、肖像権使用同意書の作成を行い、職員間で周知・確認をしています。また、子ども達の前で話す内容にも注意し、個人情報が漏れないようにしています。	
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			絵カードや写真カード等を作成し、視覚的に伝えることが出来るようにしています。	
	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			今年度はコロナの影響で地域住民を招待する活動はなかったですが、防災訓練時に分団員に来てもらい、助言等も頂いています。	
非常時等	㉚	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			それぞれのマニュアルを作成し、職員がいつでも見ることが出来るようにしています。保護者からの要望があれば、公開するようにしています。	
	㉛	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			避難訓練を毎月1回、博愛の里全体での総合防災訓練を年2回実施しています。	
	㉜	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			職員会議の中での職員研修で計画して行なっています。また、法人全体での人権研修も受けて虐待防止に努めています。	

の 対 応	④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○			現在、該当する事由がないが、必要があれば、保護者へ説明し了承を得た上で、計画書に記載するようにします。
	④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			契約時や年二回の保護者面談時にアレルギーについての確認を行ない、管理栄養士と連携して取り組んでいます。	
	④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットは様式を作り、一冊に綴って保管したり、職員会議や朝終礼等で共有を行なっています。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。